

# 神奈川芸術劇場の概要について

## 1 神奈川芸術劇場の目的と役割

### 優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を県民に提供

神奈川芸術劇場は、県内に不足している舞台芸術専用的高機能な施設として整備し、現在、東京に依存している優れた舞台芸術作品（ミュージカル、バレエ、演劇など）の鑑賞機会を県民に提供する。

### 県民ホールとの一体的な運営で文化芸術の拠点づくり

神奈川芸術劇場は、県民ホールの大ホールと小ホールの機能を補完する中規模ホールとして整備し、県民ホールと一体的に運営することにより、本県文化芸術の広域拠点機能を果たす。また、開港以来の歴史を持つ横浜山下町地区を本県文化芸術の拠点としていく。

### 3つの「つくる」を満たす「創造型劇場」

#### ア モノを「つくる」 - 芸術の創造

- ・ 高機能な舞台設備、稽古場となるスタジオ及び美術製作室等を備え、神奈川発の舞台芸術を創造・発信する。
- ・ 県内外の類似施設とネットワークを構築し、作品の共同制作・巡回公演等を行う。
- ・ スタジオなどの持つ機能を活用し、県民が行う舞台芸術創造活動を支援する。

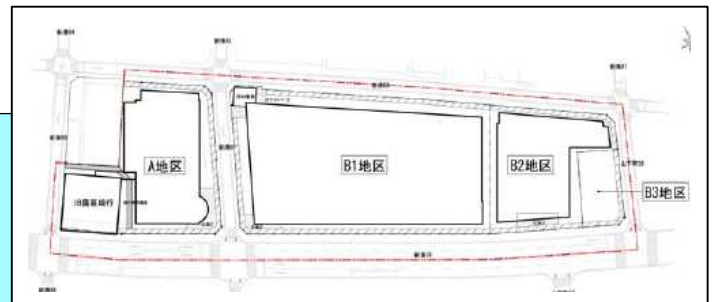
#### イ 人を「つくる」 - 人材の育成

- ・ 高機能な舞台設備やスタジオを活用し、不足している舞台技術者の育成を行う。
- ・ 舞台芸術に携わるさまざまな人材が交流する拠点となり、地域の文化芸術活動を担う人材を育成する。

#### ウ まちを「つくる」 - 賑わいの創出

- ・ メインホールでの一流の舞台芸術作品の長期公演、大・中・小スタジオの柔軟な運用によるさまざまな催し、創作活動に伴う人々の交流、NHK横浜放送局との連携などを積極的に行い、多くの人が集う施設となるよう努め、地域の賑わいを創出する。

施設の位置図（横浜市中区山下町）



- ・ 神奈川芸術劇場は、B1地区に建築されます。（NHK横浜放送局との合築）
- ・ A地区とB2地区には民間事業者の建物が建築されます。

## 2 施設概要

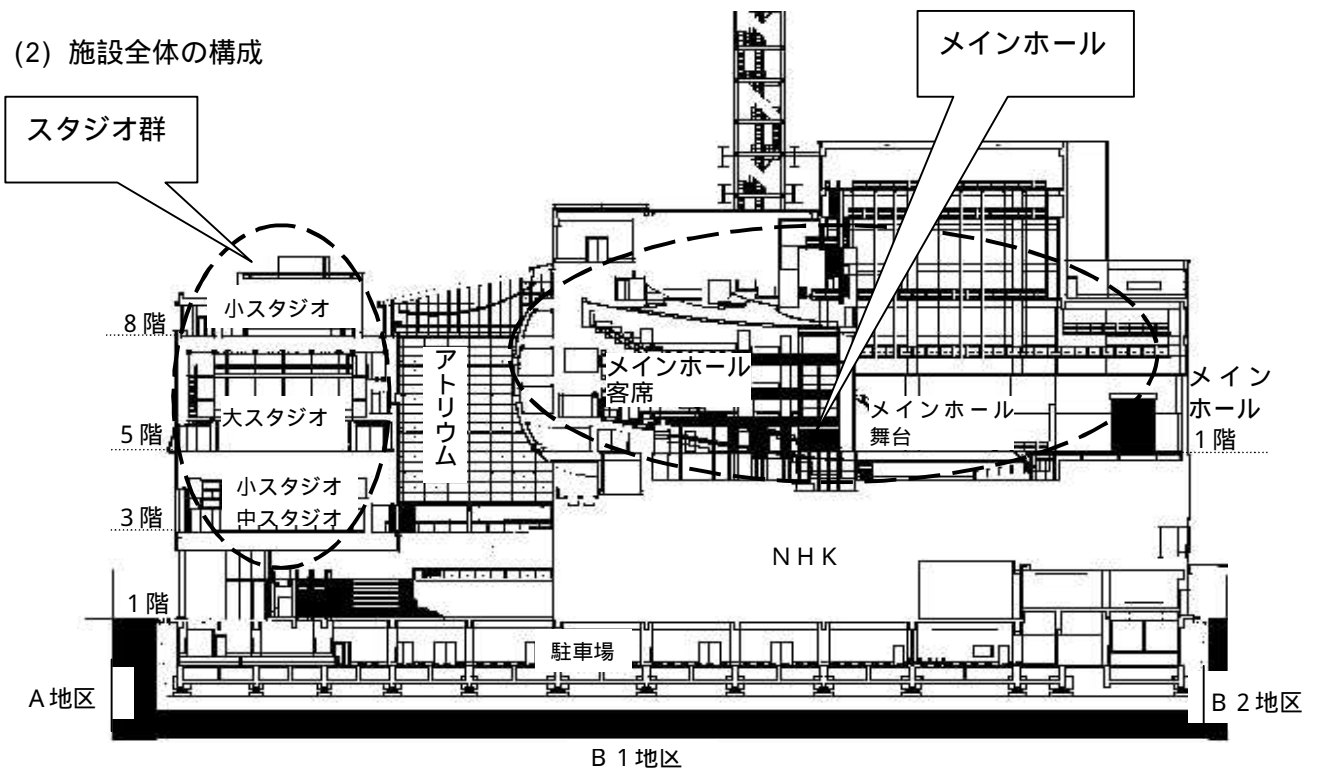
### (1) 建築概要



外観パース

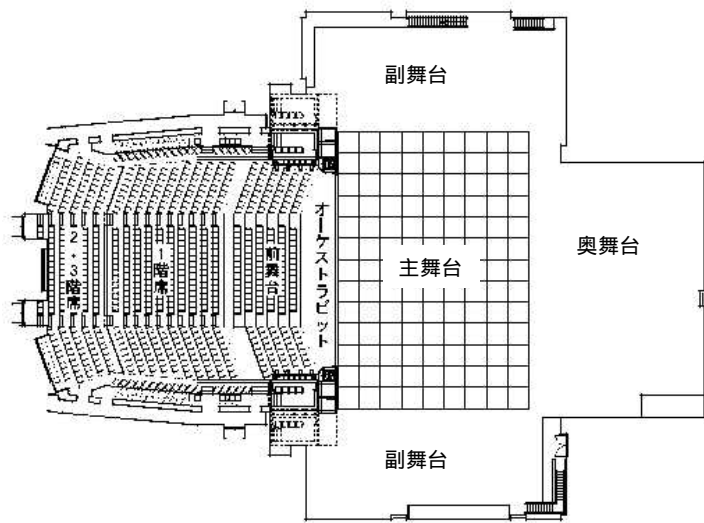
・階数	地上10階地下1階	・建物高さ	約50m(工作物であるNHKアンテナタワーを含めると約110m)
・構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	・防震・防音	免震構造、ホール及びスタジオは浮き構造
・建築面積	約4,900㎡		
・延べ床面積	約18,000㎡(NHKを含めた全体面積は約24,000㎡)		

### (2) 施設全体の構成



### 3 メインホール

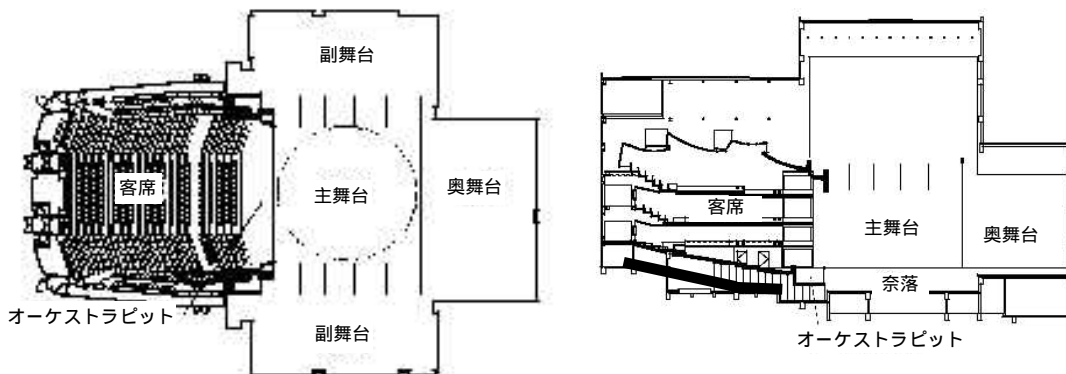
#### (1) 概要



- ・ 舞台から客席までの視線距離をできる限り短く（最大25m程度）抑え、ミュージカル、バレエ、演劇などに適した約1,300席のホールとする。
- ・ 高機能な舞台機構と照明・音響システムに加え、客席に「床昇降システム」を導入し、さまざまな演出に対応できる可変性に富んだホールとする。

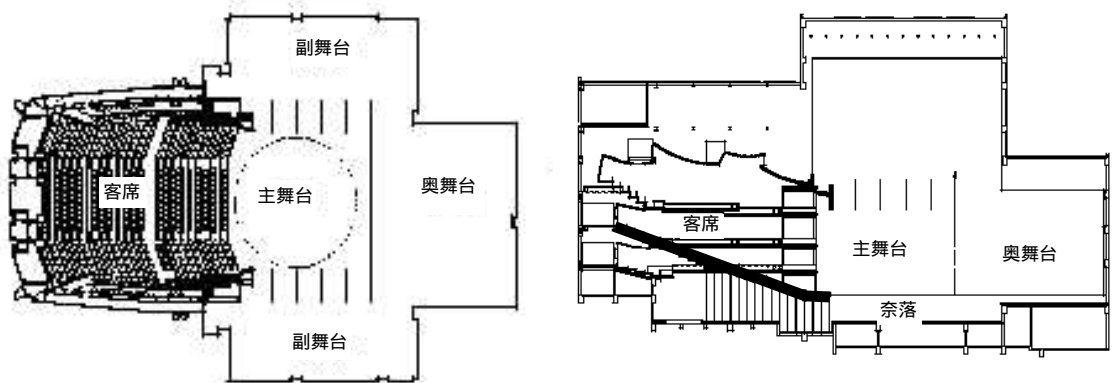
#### (2) 床昇降システムを使った変化例

基本形（客席；標準的な勾配 舞台；プロセニウムにより舞台と客席を区分する基本的な舞台構成） ・ 一般的なミュージカル・演劇・バレエなど



一体感を高めたパターン（1階席前方と2階席をつなげて急勾配とし、オーケストラピットを舞台に転換して、客席と舞台をより近づける）

- ・ 古典演劇（シェークスピア劇）前衛的な演劇・ダンスなど



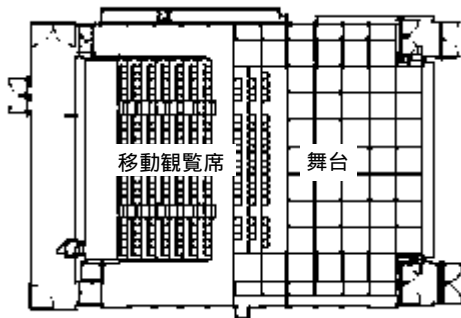
その他、平土間パターン（1階席前方を舞台面まで上げて前舞台にし、主舞台とつなげて、大きな舞台として利用することができる）などがあり、ジャンルを超えた現代的なパフォーマンス、観客参加型イベントなどに利用可能

## 4 スタジオ

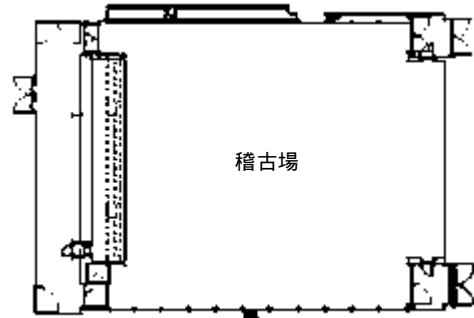
### (1) 大スタジオ

- ・ 稽古場、小劇場、イベント会場などさまざまな用途に使用できる大型（約400㎡）の多目的スタジオ
- ・ 稽古場としては、県民ホール大ホールの主舞台と同じ大きさを備えており、県民ホール大ホールで上演される作品の稽古に対応
- ・ 小劇場としては、220席の可動席と約140㎡の舞台、標準的な照明・音響設備を備えたものとして演劇、ダンスなどの発表・公演に対応

公演に使用する形



稽古に利用する形



### (2) 中・小スタジオ

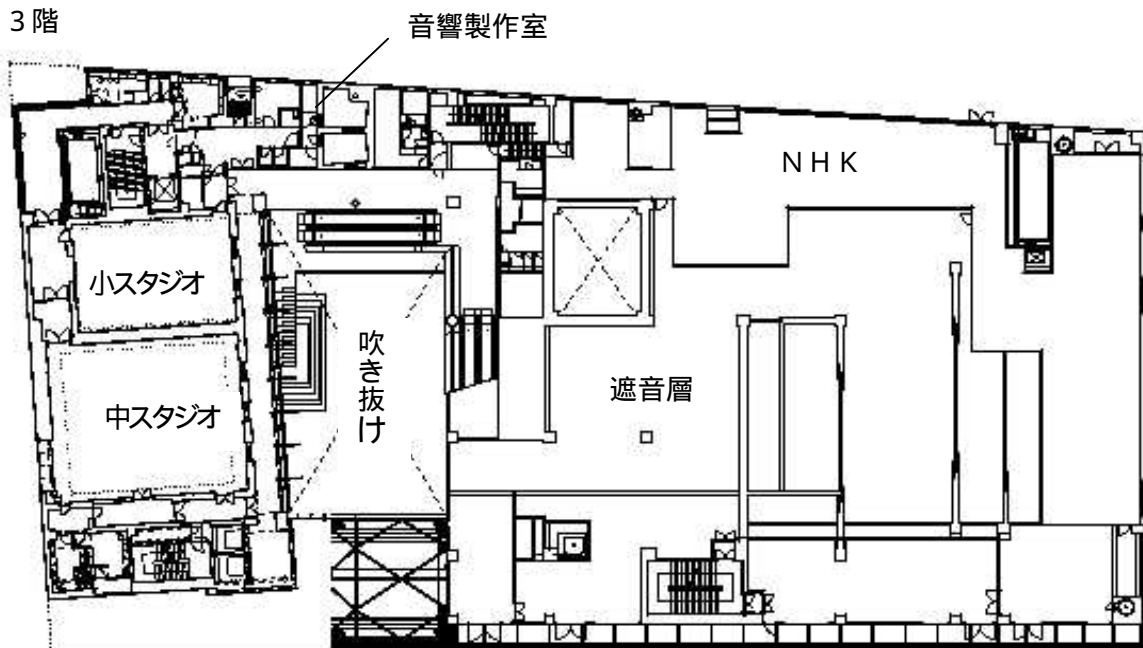
- ・ 中スタジオは、メインホールで上演される作品の稽古に対応できる広さ（約230㎡）を備えた多目的スタジオ
- ・ 小スタジオは、3階と8階に1室ずつ設ける。それぞれ大スタジオの舞台とほぼ同じ大きさを備え、小規模な演劇、ダンスなどの稽古場として最適
- ・ 中スタジオ・小スタジオは、ともに簡便に照明、音響設備を備えられ、各種のイベントや発表会など多目的に利用できるほか、小規模な公演も可能

## 5 今後のスケジュール（予定）

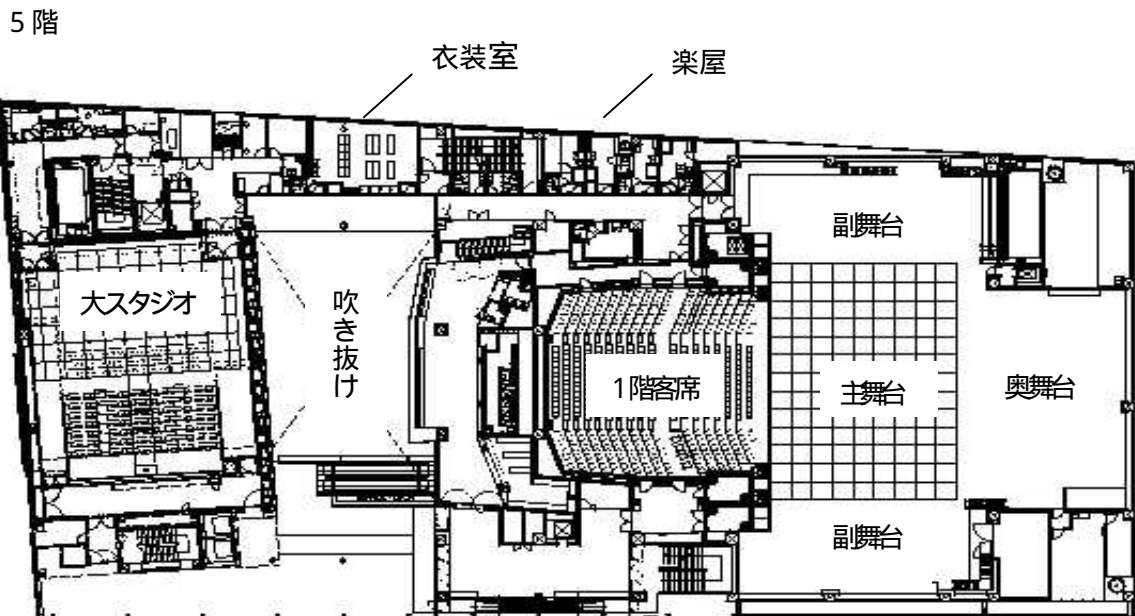
着工	平成19年12月頃
竣工	平成22年3月頃
開設	平成22年秋

【参 考】主要階の配置図

主要階の配置は次のとおりであり、3階及び5階に新ホールの主要な機能を集中的に配置している。



- ・ 中スタジオ、小スタジオ、音響製作室
- ・ 遮音層



- ・ ホールのメインロビー、ホール1階客席、舞台面、衣装室、楽屋
- ・ 大スタジオ

( ) 部屋名称等は仮称です。